

学校法人 菊武学園
菊華高等学校

令和六年度 入学生選抜試験問題

国語

〈試験の注意〉

- 試験開始の合図があるまで開けないでください。
- 監督の先生の指示に従って、受験番号と氏名を記入、マークしてください。
- 試験時間は、四十分です。
- 解答は、すべて解答用紙にマークしてください。
- 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないようにしてください。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。
- 破れた場合は交換しますので、申し出てください。
- 丁寧にマークをしてください。乱雑な場合、0点になります。
- 解答用紙の余白に書き込みをしてはいけません。

〈マークシート記入の注意〉

番号を記入	受験番号
番号をマーク	① ① ① ① ① ① ① ①

ふりがな	
氏名	
氏名とふりがなを記入	

受験番号						氏名	
------	--	--	--	--	--	----	--

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

学校を卒業したばかりの新入社員を対象とした入社式などで、会社の社長や会長などが、よくこんなことをいったりします。

「今日からみなさん社会人です。いつまでも学生時代のような気分ではもらっても困ります。社会人になると、いろいろな困難な壁、大きな壁にぶつかります。(A)、壁にぶつかってもけっしてくじけることなく、頑張って乗り越えていってください」。

① 私はこの種の励まし方が、どうしても好きになれません。大きな壁でも頑張って乗り越えろ、なんていわれても、自分の力では到底乗り越えられないことも、しょっちゅう起こるのです。もっといえば、乗り越えられないもののことを、壁というのです。

② では人生でも、仕事でも、これから直面するであろう大きな壁を前にしたとき、どうすればいいのでしょうか。そこにはこれが正解というものはありません。私の場合には、自分自身の経験と実感を踏まえて、こんなことを中学生や高校生にいつてきました。

「大きな壁にぶつかったときに、大切なことはただ一つ。壁の前でちゃんとウロウロしていること。ちゃんとウロウロしていれば、だいたい大丈夫」。

意味がわからず、ポカンとしている生徒さんもあります。ウロウロしているだけでは意味がない。もっと頑張って乗り越えるように努力すべきだ。それでも駄目なら、戦略を練り直して、別の道をすぐに探していくべき。③ そんな考えが、顔に書いてある人もいます。

私はなぜちゃんとウロウロしていれば大丈夫なのか、こう説明します。

「壁の前でただウロウロしているだけでは意味がないと思うかもしれませんが。でも、どうしよう、どうしようと、とにかく立ち止まらずに壁の前

を行ったり来たりする。そのとき本当に偶然④なのですが、壁の下に小さな穴がみつかったりすることがある。その穴を⑤()に手で掘り広げていくと、わずかに通り抜けられるくらいのトンネルができたりする。そこに勇氣を持ってめぐりこんで、もがいているうちに、壁の向こうにたどりついたりすることがあるんです。その穴は、行動せずに立ち止まっていただけでは、みつからなかったかもしれない。

(B)、ウロウロしていても穴もなにもみつからない、ということはありません。いよいよもう駄目なのかと思う。けれど、もう一日だけ粘ってみようとした最後の日の最後の瞬間に、グラッと地面が揺れて、その拍子に壁に⑦きれつが走る。しまいには壁そのものがガラガラと勝手に崩れていく。土けむりの舞うなかを、()⑥、壁の向こうに行けたりする。それも早々にあきらめていたら、あとで壁が崩れたことにも気づかなかったかもしれないです。

こんなことだってあります。穴もみつからない。壁もいっこうに崩れそうな気配もない。今度の今度こそ、本当に駄目かもしれないと思う。すると、何か遠くで音がする。ブルブルブルッという音がする。「I」空をみると、向こうからヘリコプターらしきものが飛んでくる。「II」そのうち自分の上空で⑧せんかいを始める。すごい風のなか、なんだろうと思っていると、ヘリコプターからスルスルとロープが降りてくる。これは自分を助けてくれようとしているのか。不安になりながらもロープをつかんでみる。「III」すると、一気にヘリコプターは上昇する。手を離したら死ぬかと思っ、必死にロープにしがみつく。そのうち、ヘリコプターはゆっくりと壁の向こうまで移動して、下降していく。「IV」ロープを握っていた自分が地面に着いたことを見ると、誰が⑨そうじゅうしているのかも結局わからないまま、ヘリコプターはまた遠くに飛んでいってしまう。何がなんだかわからない。「V」

壁の前でちゃんとウロウロしていると、いつかそんなことが起こる。
(C) 大丈夫なんです」。

見通しもよくわからないまま、挫折しそうな壁の前で、ただウロウロするなんて、たしかに無駄なことのように思えます。けれども希望は、無駄とか損とかという計算の向こうにみつかったりするものです。そして挫折を経験しながらも、ときに他の誰かの力をかりて試練をくぐり抜けていこうとする行為そのものに、希望は宿るのです。

『希望のつくり方』(玄田有史)より

問一 (A)に入る言葉を、選択肢から一つ選びなさい。

- (1) ① もし ② けれども ③ だから ④ ただ ⑤ そして

問二 (B)に入る言葉を、選択肢から一つ選びなさい。

- (2) ① もし ② けれども ③ だから ④ ただ ⑤ そして

問三 (C)に入る言葉を、選択肢から一つ選びなさい。

- (3) ① もし ② けれども ③ だから ④ ただ ⑤ そして

問四 傍線部①の「この種の励まし方が好きになれない」理由について、

選択肢から一つ選びなさい。

- (4) ① 社長や会長の上から目線の言葉に腹がたつから。
② 卒業後すぐに、社会人として成長するわけではないから。
③ 人生は、自分の力では乗り越えられないことも起こるから。
④ 人生の正解を押しつけられようとしているから。
⑤ わかりきったことを言われて聞く気になれないから。

問五 傍線部②で、壁を前にした時、どうすればよいかの筆者の考えを、
選択肢から一つ選びなさい。

- (5) ① 自分自身の経験と実感を踏まえて考えていく。
② 正解はないので、特に答えを出さない。
③ 中学生や高校生に自分たちで考えてもらおう。
④ 壁の前でちゃんとウロウロする。
⑤ がんばって乗り越えられるように努力をする。

問六 傍線部③の「そんな考え」とは、どのような考えかを、選択肢から一つ選びなさい。

- (6) ① 乗り越えられるように努力し、駄目なら戦略を練り直す。
② 意味がわからないので、ポカンとして、次の動きを待つ。
③ わずかでも通り抜けられるくらいの穴を、必死に探す。
④ 時間さえ過ぎれば、必ずはっきりとした答えが出てくる。
⑤ 無駄とか損とかいう計算をしていけば、答えが見つかる。

問七 傍線部④「偶然」の反意語を、選択肢から一つ選びなさい。

- (7) ① 完全 ② 自然 ③ 当然 ④ 必然 ⑤ 直前

問八 傍線部⑤は四字熟語であるが、空欄に入る語として適切なものを、

選択肢から一つ選びなさい。

- (8) ① 棒大 ② 猛進 ③ 摸索 ④ 貫徹 ⑤ 懸命

問九 空欄（⑥）に入る語を、選択肢から一つ選びなさい。

(9) ① 自分で乗り越えたわけではないけれど

② 自分が努力したことで

③ まわりの人たちが手助けしてくれたことで

④ 目に見えない不思議な力が働いたことで

⑤ 自分と他人が一緒に努力したことで

問十 次の一文は、「Ⅰ」から「Ⅴ」のどこに入れるのが適切か、選

択肢から一つ選びなさい。

(10) でも自分がウロウロしていたからこそ、発見して助けてくれたんだ
と思う。

① 「Ⅰ」

② 「Ⅱ」

③ 「Ⅲ」

④ 「Ⅳ」

⑤ 「Ⅴ」

問十一 傍線部⑦、①、②を漢字に直すとどれが適切かを、選択肢から一
つ選びなさい。

(11) ⑦ きれつ

① 危列

② 亀裂

③ 亀列

④ 棄裂

⑤ 機烈

(12) ① せんかい

① 千回

② 戦階

③ 旋回

④ 旋階

⑤ 千階

(13) ② そうじゅう

① 総重

② 宗集

③ 惣重

④ 宗重

⑤ 操縦

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あらすじ

神谷新二と一ノ瀬連は、おさな馴染みで、同じ高校に入学した二年生。新二は中学までサッカー選手として活躍するが、よりサッカーのうまい兄の「健ちゃん」と比較されることもあり、サッカーから距離を置いている。連は、中学時代に、陸上で全国大会七位の成績を残しているが、「部活動は体質に合わない」と、走ることを辞めていた。

高校に入学して、連は陸上部への入部を熱望されるが、見学にすら行かない。同級生で陸上部の根岸康行も、連が陸上部に入るように模索している。新二は、「走ることが好きな連」を知っている。そこで、「再び連に走らせることはできないか」と思っている。そんな時、体育の授業の50m走で、新二と連が一緒に走ることになった。

連と走るのには、小学校五年のリレーのアンカーの時以来だ。トラックの四分の一周ほどリードしてトップでバトンを受けた俺を連はゴール前で抜きやがったんだ。

50mで、どのくらい差がつくんだろう？ 全国で7位とかのスピードで、どんなもんなんだろう？（A）した。

「思いきり走れよ」

俺は連に話しかけた。

「なんでよ？」

連はだるそうに聞き返した。

「知りたいんだよ。おまえ、どのくらい速いのか」

「なんでよ？」

「なんでだろう？ いきなり答えに困った。」

「おまえは知りたくないのか？ 速い奴がいたらさ。そいつがどのくらい速いかって」

俺は懸命に考えてしゃべった。

「身体で感じてみたくないか？」

連は俺の目を見た。

「そうだな」

連はゆっくりと言った。

「おまえ、速いんだっけね」

「や、俺は……」

(B) とふくらみかけた劣等感を必死で押しつぶした。引いたらイカン。連からのこのパスをスルーすることは断じてナラン。^① 決定的な場面だ——もしかして。

「速いよ。わりと」

力をこめて言うと、連は吹き出した。なんで、笑うんだよ。人が必死で真面目に決定的に……。

「スタート勝負だよ、50mは」

連は何気ない調子で言った。さらりと口にした「勝負」という言葉が耳に強く残った。

「勝負しよう」

俺は言った。負けるのわかりきってるけど。

連はまた俺の目を見た。奴は何も言わなかったけど、笑ったり茶化したりはしなかった。

土のグラウンドに石灰で白いラインを引いてトラックが描かれている。スタートの合図は生徒がやり、体育の吉野先生が両手に二つのストップウォッチを持ってゴール地点でタイムをはかる。^② スターターは「用意」で片手を伸ばして上げ、「スタート」で大きく振り下ろす。地面に手をつくクラウチング・スタートじゃなくて、立ったままのスタンディング・スタートだった。

背の低い順から二人ずつ、どんどん走っていく。7秒台のタイムが多

く、たまに6秒の後半が出ると、ハンドボール部の顧問でもある吉野先生は、「よー、何部だ？」と声をかけて勧誘しようと狙っている。今のところ、6秒5の根岸のタイムが一番いい。さすがだ。中学時代の俺の50mのタイムは6秒2だけ？ 全力で走るのなんて久しぶりだよ。犬の散歩でのジョギングはかかさずにやってたけどさ。「②」なんて言わなきゃよかったかな。

連は体育座りの膝にあごをのせて、楽しそうに見ている。ガキの頃はクモとあだ名がついたほどに細長い手足には力なんてあまりなさそうだけど、あれでしなやかな筋肉なんだろうな。身体って不思議だ。身体に備わっている力とか才能とかって、ほんとに不思議だ。俺なんて中肉中背の健ちゃんよりタツパあるし、体力テストの数値だって全部上なんだ。神様のゴツい嫌味さ。

順番がきた。スターティング・ラインに並んだ。視線の端にうつつ連の構えがカッコイイと思った。

「用意——スタート」

スターターの振り下ろした手を見て飛び出した。

自分がどんなふうに行ったかなんて覚えてない。

連の背中しか覚えてない。

置いていかれたという強烈な感覚と。

連の速さを感じるなんてできなかった。そこまで、ついていけなかった。スタートした時はあいつはもうはるか先において、それからどんどん行ってしまった、あいつの背中が。

悔しい——とすら思えない。

勝負？ とんでもない。

なんかアタマがぶっとんでる。

俺、連のこと、何にも知らなかったんだな。よく知ってるつもりだった

のに。あいつ、こんななんだ……。

「よー、神谷」

根岸がやってきて俺の肩をつかんだ。

「失敬な野郎だな。俺より速いじゃねえか」

「え？ そう？」

俺はまだアタマがうつろでぼんやりと答えた。

「何ショック受けてるんだよ。けっこう一ノ瀬について行ってたじゃないの。すごいじゃん」

ついていった？ あれで？ 俺はもう少し……。

「5秒9だよ。5秒台だぜ！スポーツ・テストじゃ、めったにきかないぜ。正確な計測じゃないかもしれないけど、練習もしてねえ奴がさ。人生やんなるぜ。まったくよ」

根岸が（C）と言っている。連のタイム？

俺は連を探した。

五、六人に囲まれている。運動部の奴ら？

俺は強引に割り込んで、

「おい、連」

声をかけて体操着の胸元をひつつかんだ。

「おまえ、陸部、入れ」

服が破れそうなくらい指に力をこめた。

「絶対、入れ」

何するんだよ、と言ったのは連じゃなくて、まわりの連中だった。

連の目は最初驚きの色を浮かべただけで、落ちついて俺を見返していた。

「走れよ」

俺は言った。

「嘘だろ？ 走んなきゃ」

すると、連の目が笑った。

「短けえな、50mは」

ポツと言った。

俺は連の体操着を離した。

「もうちょい走りたかったな」

急に力が抜けた。ため息が出そうになった。

「一ノ瀬——」

いつのまにか根岸が隣にいて、泣きそうな声で連を呼んだ。

「100あると、もうちょい面白かったよな」

連は根岸に話しかけた。

「新二はパワーあるから、後半伸びるタイプなんじゃない？」

根岸はうなずいた。

「神谷には俺も驚いた」

「新二も走る？」

連は俺に尋ねた。

あまりに何気なく聞かれて、一瞬意味がわからなかった。次の瞬間、何か強烈な熱い風を胸に吹き込まれた気がした。

「おう」

運命のようなものを感じたにしては間の抜けた返事になった。

放課後、連と一緒に陸上部の見学に行って、そのまま入部を決めた。

『一瞬の風になれ』（佐藤多佳子）より

問一 空欄（A）、（B）、（C）に入る語として、適切なものを、選択肢から一つ選びなさい。

(14) (A)

- ① どきどき
- ② むくむく
- ③ わくわく
- ④ いらいら
- ⑤ ぶつぶつ

(15) (B)

- ① どきどき
- ② むくむく
- ③ わくわく
- ④ いらいら
- ⑤ ぶつぶつ

(16) (C)

- ① どきどき
- ② むくむく
- ③ わくわく
- ④ いらいら
- ⑤ ぶつぶつ

問二 傍線部⑦、⑧、⑨を漢字と送りがなに直すと、どれが適切かを、選択肢から一つ選びなさい。

(17) ⑦ はかる

- ① 図る
- ② 測る
- ③ 量る
- ④ 計る
- ⑤ 諮る

(18) ⑧ うつつた

- ① 移った
- ② 撃った
- ③ 写った
- ④ 遷った
- ⑤ 映った

(19) ⑨ きかない

- ① 効かない
- ② 起かない
- ③ 聴かない
- ④ 聞かない
- ⑤ 利かない

問三 傍線部①の最後の「もしかして」の後に入る言葉として適切なものを、選択肢から一つ選びなさい。

(20)

- ① サッカーを一緒にやっているかもしれない。
- ② 連が走ることを続けようと思うかもしれない。
- ③ どの部活にも入らなくなってしまいかもしれない。
- ④ 二人の友情が壊れてしまいかもしれない。
- ⑤ 連に走ることでは勝てるかもしれない。

問四 空欄「②」に入る語として適切なものを、選択肢から一つ選びなさい。

(21)

- ① 勧誘
- ② 歓迎
- ③ 勝負
- ④ 前進
- ⑤ 成長

問五 傍線部③に使われている表現技法を、選択肢から一つ選びなさい。

(22)

- ① 擬人法
- ② 比喩法
- ③ 倒置法
- ④ 反復法
- ⑤ 体言止め

問六 傍線部④に込められている新二の気持ちとして適切なものを、選択肢から一つ選びなさい。

(23)

- ① 連の走りが想像以上にすばらしいことに対する尊敬の気持ち
- ② 連の走りに追いつけないことに対する絶望の気持ち
- ③ 連の走りをやましいと思う妬みの気持ち
- ④ 偉大な友達を持っていることについての自慢の気持ち
- ⑤ 自分も連のように走りたいという挑戦の気持ち

問七 傍線部⑤と⑥は誰の言葉か、その組み合わせを、選択肢から一つ選
びなさい。

- (24)
- | | | | | | | |
|---|---|---|--------|---|--------|---|
| ① | 《 | ⑤ | 連 | ⑥ | 根岸 | 》 |
| ② | 《 | ⑤ | まわりの連中 | ⑥ | 新二 | 》 |
| ③ | 《 | ⑤ | 新二 | ⑥ | 連 | 》 |
| ④ | 《 | ⑤ | 根岸 | ⑥ | 新二 | 》 |
| ⑤ | 《 | ⑤ | 新二 | ⑥ | まわりの連中 | 》 |

問八 傍線部⑦に込められている連の気持ちとして適切なものを、選択肢
から一つ選びなさい。

- (25)
- ① 新二には走ることは負ける気がしないという気持ち
 - ② 新二の走るセンスを見て、一緒に走りたいという気持ち
 - ③ 新二もサッカーをあきらめずに続けてほしいという気持ち
 - ④ 何があっても新二を支えていきたいという気持ち
 - ⑤ 自分だけでは判断できず新二に決めてほしいという気持ち

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、貫之が土左の守になりて、下りてありける程に、任果ての年、

七八ばかりの子の、えもいはずをかしげなるを、^①限りなく愛しうしける

が、^③とかく煩ひて失せにければ、泣き惑ひて、病つくばかり思ひこがる、

程に、月ごろになりぬれば、「かくてのみあるべきことかは。^②上りなむ」

と思ふに、「^④兎の、こゝにてなにとありしはや」など思ひ出でられて、い

みじう悲しかりければ、柱に書きつけける、

都へと思ふにつけて悲しきは帰らぬ人のあればなりけり

と書きつけたりける歌なむ、^⑤今までありける。

注 ○ 貫之：紀貫之。延長八年（九三〇）土佐の国司

○ 任果ての年：任期が終わった年

○ 七八ばかりの子：七つか八つくらいの子で貫之の娘

○ えもいはず：言いようもなく

○ 月ごろになりぬれば：何ヶ月か経ったので

○ かくてのみあるべきことかは：こうしてばかりもいられない

○ こゝにてなにとありしはや：このようにしていたなあ

問一 傍線部①の意味を、選択肢から一つ選びなさい。

(26) ① 少し変わったところがあるのを

② 愛らしいところがあるのを

③ おもしろいことをいうところがあるのを

④ やさしいところがあるのを

⑤ すぐに笑うところがあるのを

問二 傍線部②と③の動作は誰の動作か、その組み合わせを、選択肢から

一つ選びなさい。

(27) ① ≪ ② 紀貫之 ③ 七八ばかりの子 ≫

② ≪ ② 土左の守 ③ 紀貫之 ≫

③ ≪ ② 七八ばかりの子 ③ 紀貫之 ≫

④ ≪ ② 七八ばかりの子 ③ 七八ばかりの子 ≫

⑤ ≪ ② 紀貫之 ③ 土左の守 ≫

問三 傍線部④の読みを、選択肢から一つ選びなさい。

(28) ① じ ② ちき ③ ちご ④ あこ ⑤ わこ

問四 傍線部⑤に使われている技法を、選択肢から一つ選びなさい。

(29) ① 本歌取り ② 掛詞 ③ 係り結び

④ 枕詞 ⑤ 縁語

問五 この文中に登場する紀貫之は、『土佐日記』を書いたが、『土佐日記』の成立した時代を、選択肢から一つ選びなさい。

(30) ① 奈良時代 ② 平安時代 ③ 鎌倉時代

④ 室町時代 ⑤ 江戸時代

四 四字熟語を完成させる語を、選択肢から一つ選びなさい。

(31) 時代（ ） 誤 ① 策 ② 錯 ③ 作 ④ 索 ⑤ 咲

(32) 枝（ ） 末節 ① 陽 ② 要 ③ 様 ④ 葉 ⑤ 洋

(33) 前代末（ ） ① 門 ② 紋 ③ 文 ④ 悶 ⑤ 聞

(34) 大器晩（ ） ① 成 ② 生 ③ 正 ④ 精 ⑤ 性

〔五〕 次の表現に使う漢字を、選択肢から一つ選びなさい。

(35) にわか雨にあう。

- ① 合
- ② 会
- ③ 逢
- ④ 遭
- ⑤ 遇

(36) 学問をおさめる。

- ① 納
- ② 治
- ③ 修
- ④ 収
- ⑤ 長

(37) 納得しがたい理由だ。

- ① 堅
- ② 固
- ③ 型
- ④ 硬
- ⑤ 難

〔六〕 次の空欄に当てはまるカタカナ語を、選択肢から一つ選びなさい。

(38) 環境破壊は（ ）な問題だ。

- ① イデオロギー
- ② インフラ
- ③ マネージメント
- ④ グローバル
- ⑤ カテゴリー

(39) この素晴らしさは、この世に存在しない（ ）だ。

- ① ダイナミック
- ② ユートピア
- ③ モチーフ
- ④ アイロニー
- ⑤ レトリック

(40) 感激の涙を流し、（ ）を味わう。

- ① エゴイズム
- ② スローガン
- ③ カタルシス
- ④ ポストモダン
- ⑤ アプローチ

